

# 学校保健

第19回全国学校保健研究大会

記念号 No. 79

発行 財団法人 日本学校保健会 〒 105

東京都港区芝西久保明舟町10 電話 501-3785

## 全国大会を迎えて

— 学校保健大会の意義 —  
— 学校保健発足百年に近く —

理事長 湯浅 謹 而

第19回全国学校保健研究大会と、第2回全国学校保健協議大会が、鹿児島県において開かれることになったが、まことに慶賀にたえない。

19回という回を重ねてきたということからだけでなく、わが国の最南の地において開催されるということに深いよるこびがある。そして学校保健について、実践的研究協議を進めようという意図が示されていることから、国の最南の地域で開催されることに、深い意義が考えられる。

全国大会であるから、学校保健についての全国的向上推進にあることは言をまたないが、その現実の処理は単純ではない。たとえば、全国各地域の特定の人々だけの集いを重ねていると、恐らく全国の学校の個々からかけ離れていくことが起るであろう。従って、大きくかけ離れた実情のそれぞれに、水準の改善向上を図るためには、毎年実情を異にする参加者が望まれる。このことから開催地が変ることの意味があろう。

学校保健の推進については、全国大会とは別に、指導者講習会が職域別に、文部省と本会によって、毎年開催されている。しかし、そのあるべき姿を、全国約4万の学校にそれぞれに適用しようとすると、問題は別に起ってくる。しかも学校保健ほど複雑な組織機構をもっているものは、学校教育のうちにはない。こ

すればいいのだということがわかっていても、その通りできないところに問題があり、しかも児童生徒の家庭や家族まで動かさなければ目標が達せられないところに、学校保健の悩みがある。他方学校や家庭が協力一致して努力しても、地域の状況が不備であれば成果は得られない。

学校保健は、無数の異なった実情に立ち、複雑な組織機構を動かして初めて効果的な活動ができるのだと

いう所に、全国大会の意義と重要性がある。従って疾病予防も保健学習も精神衛生も、学校保健関係の全部の立場から、また種々の地域や実状に立って研究協議する必要があるわけである。この意味からも、毎年新しい開催地を得、新しい参加者が得られるということだけで、すでに全国大会の大きな役割が果たされたことになる。

全国大会の求めているものは、それだけに終らない。宇宙時代といわれる21世紀を目近かにして、わが国の学校保健は如何にあるべきかという課題についても、全国的に総力を結集しようという大理想もある。

また一、二年ののち、学校教育に



県 体 育 館

第19回全国学校保健研究大会主会場

おける明治百年がある。学校教育とともにスタートした学校保健ではあったが、明治30年前後と、昭和24・5年前後という二つの峠を越えて、ようやく現在があつた。この学校保健の一世紀は長いようであるが、大きな歴史的な変革というものは、そうたやすく得られるものではない。この歴史の変革を経験したわれわれにとつて、われわれは何を考え、何を研究していくべきかという疑問が深く存在している。これについても日頃の研究協議の努力が払われなければ、歴史の時機を逸するということになるであろう。

### 職域別の会合

- 学校医 会場 県医師会館 11月21日 11時より
- 学校歯科医 会場 県医師会館 11月23日 16時より
- 学校薬剤師 会場 ホテル鶴丸 11月23日、16時より
- 保健主事 会場 城山観光ホテル 11月21日 16時より
- 養護教員 会場 わたなべ会館 11月21日 14時より
- 会場 県産業会館

### 本号内容

- ◆ 全国大会を迎えて
- ◆ 鹿児島大会運営上の努力点
- ◆ 鹿児島県学校医会の組織と活動
- ◆ 鹿児島県へき地校歯科巡回診療
- ◆ 鹿児島県離島の環境衛生検査
- ◆ 就学時の健康診断
- ◆ 東京都離島の歯科出張診療
- ◆ 本会ニュース

# 鹿児島大会

## 運営・準備についての努力点

### 第19回全国学校保健研究大会実行委員会

#### 一、大会引受けの動機

全国学校保健研究大会を鹿児島県で開催しようという気運がおこったのは、二年ほど前であった。全国の学校保健大会を開催することによって、本県の学校保健活動の飛躍的發展を図り、昭和47年に開催が決定した国民体育大会と相まって、児童生徒の健康と体力の向上を図ろうとする関係者の一致した願いによるものであった。本県の学校保健活動は、県や市町村学校保健会など組織的活動や地域ごとの保健活動も整備されてきたし、関心や意欲も漸次もりあがりつつあるが、県下学校の約三分の一はいわゆる僻地校であり、しかも離島が大半を占めるため、近代生活に即応した学校保健活動を津々浦々まで浸透させることは並みだたいのことではないのである。われわれ関係者は、この状態を打開するために全国大会を契機として、まず関係者の研修と相互協力体制を確立し地域ぐるみの活動をすすめるべく名乗りをあげた次第である。

#### 二、班別研究・領域別研究のすすめ方

本研究大会の中核をなす班別・領域別の研究のすすめかたにおいても地域的なまとまりを促進させる意味においても、小・中学校は市町村ごと、幼稚園や高等学校も地域やグループごとの研究を基盤とした発表を依頼し大会にのぞむことにしている。この大会は第十七回愛媛大会よ

り研究大会としての色彩が強く打ち出され、本年は三年目にあたるため何らかの結論を出さなければならぬであろうし、学校など現場における実践にはまだ幾多の研究の余地があるということから、愛媛・岐阜大会の方式を全面的に踏襲した。即ち代表として参加される会員が、事前研究を積み、限られた時間に最大の成果をあげる必要があるため、それまでの大会の成果を参考にして、研究主題・研究協議題や研究の観点を事前に示し、具体的・実践的研究協議をするための班別・領域別研究会を計画したのである。

#### 三、班別研究の速報

充実した分科会を行なうためにはいきおい、全国からの参加者の配分と制限を行ない、限られた人員による班別研究が中心とならなければならぬが、反面全体の見とおしや、ふんい気に接する機会に欠けるうらみがあるため、各班ごとの協議の模様を、翌朝の領域別分科会にさきだし、速報として配布する計画を立てている。限られた時間に、充実した協議内容をまとめることは困難なことではあるが、全力をあげて実現したいと関係者は意気込んでいる。

班別分科会の翌日の領域別分科会は、領域全体の立場からのまとめと見とおしをもつために重要であるが参加者は半減し盛りあがりのないものに終ることが案じられる。

#### 四、領域別研究運営の新工夫

本大会においては、各班から提出された問題は司会者が十分検討するとともに、各班共通の、しかも班別でとりあげない問題を一題設定し、効果的な研究協議をねらった。さらに全国的な指導助言者による指導の時間を十分確保し、研究のしめくくりとしたいと考えるので、会員の積極的な参加を希望したい。また第九領域の特殊学校(学級)の領域においては、班ごとの独自性を尊重し、それぞれの学校現場において、学校の実際活動や施設設備の参観を織り込みながら、班別研究会に終始する方法をとってみた。

#### 五、全国協議大会を有効に

大会第一日の全体会場で、記念講演終了後、全国学校保健協議大会が日本学校保健会と鹿児島県学校保健

会の主催により行なわれるが、これは、班別・領域別の研究会と密接なつながりをもつものであり、昨年の岐阜大会を第一回とし、本年は第二回目ということになる。すでに各都道府県・指定都市から学校保健全般に関する問題や、条件整備等の諸問題が提出されているので、全会員で意見交換を行なう貴重な機会として全会員の参加を望みたい。

#### 六、心からの歓迎

会場や宿舎等については、諸般の事情からある程度分散せざるを得なかったが、細部にわたって事務局が指導し、気持よく鹿児島での数日を過ごされるよう関係者において努力をこらした。

わが国最南端の鹿児島は、藩政時代、明治維新など歴史的に見て意義ある所であるが、海あり山あり県内いたるところ温泉にもめぐまれ、めったに訪れることのない自然ゆたかな観光地でもありまたそこには、純朴で明るい県民性も見出されることであろう。この大会を機に、広く鹿児島県のあらゆる面を観察され、ご指導いただきたいと思う。

とにかく初めて経験する全国大会の運営であるうえ、へき遠の地で、連絡等もかく不便であるため、遠来の参加者各位を迎えるには、何かに不備不行届きの点も多からうと案じているが、関係者の誠意をくみとられて、お許しいただきたい。

全国からの参会者の皆様と親しくひざを交えて語り合い、貴重な成果を残していただき、心から感謝するしだいである。

#### こしき島へ環境検査に出かける鹿児島県学校薬剤師団

こしき島へ環境検査に出かける鹿児島県学校薬剤師団



**良い子強い子! 強力パンビタンA**

くすりぎらいのお子さまに  
**パンビタンペレ**  
**パンビタンペレ** チョコレート

他に・疲れの激しい方に強力パンビタンゴールド・赤ちゃんの健全な発育にパンビタンA液

へき地校の

歯科巡廻診療

鹿児島県学校歯科医会長 上 国 料 与 市

一、はじめに  
鹿児島県学校歯科医会は、昭和25年に創立した。鹿児島県は多くの離島僻地をかかえて、これら無医地区

における、児童生徒の歯科疾病の管理ができず放置されているので、行政的措置の必要を関係当局に進言してきた。昭和41年度に僻地学校歯科診療費が県費として予算化し、県教委は運営を県学校歯科医会に委託したので、ただちに鹿児島県へき地学校巡回診療団を結成、以来毎年度県教委と県学校歯科医会共催の事業として今日に及んでいる。

二、診療実績

昭和41年度

大隅半島南端のへき地2カ所、離島1カ所の学校を選定し、巡回診療をした。受診者九七八名、ウ蝕罹患者率89%、アマ充四〇二名、抜歯四一八名、既往に歯科治療を受けた者九八七名中12名。

昭和42年度

大隅半島南部の岸良地区を選定実施した。ここは歯科医療機関二カ所を有する内之浦町から約16kmを隔てた農漁村で、内之浦との間に定期バスが、一日四往復している準へき地である。テストケースとして選定した。地元関係者の中に歯科の校医あり万一の場合には町まで、一日四往復のバスがある故には必要はないという声も聞かれたが、町長の要請で、診療実施検診の結果は別記の通りであるが、既往において、治療を受けた者二二七名中2名。この事実は何を物語るであろうか、私達の注目するところである。この様な実状は他に

名。ウ蝕罹患者率82・2%。アマルガム充填一五八名。抜歯した者一三一名。既往に治療を受けた者2名。

昭和43年度

鹿児島県の西北端人口約二千人の離島獅子島地区の学校を対象とした受診者五四八名。ウ蝕罹患者率87%。抜歯せる者一八六名。アマルガム充填三〇三名。既往に治療を受けた者一〇七名。この地区の特色は他に比べ、既往における処置者の多いこと

で意外であったが、歯科医療機関三カ所を有する隣りの長島との海上交通が便利であることを知った。

三、むすび

わが国の学校歯科衛生はかつて歯科医師会の医政の一環として、公衆衛生的に育ってきたと思うが、戦後教育の内容にこれが組み入れられ、以来20年余を経過している。今日学校歯科の本質が正しく理解認識されまた運営が、法の精神にそって正しい方向に進んでいるのであろうか。

私は鹿児島県学校歯科医会が毎年実施している学校歯科保健関係者(教委・学校長・保健主事・養護の先生・学校歯科医)の連絡協議研究会及びへき地学校巡回診療の実態を通じて感じた点を申しのべたい。

第一に痛感することは、関係者の中に、学校歯科が教育であるという本質を正しく理解認識していない方が多いことである。過去の公衆衛生的な考え方から一歩も出ていない感じがする。学校歯科とは、口腔検診とムシ歯を治療することだと考えている方が多い。学校歯科とは、歯科衛生環境を整備し、歯科疾病を管理し、歯科衛生教育を通じて、児童生徒が、自主的に歯科保健を体得する

ものでなければならぬ。特に歯科衛生への自主性を高める教育について大きな期待と関心を有するものであるが、この点まだ緒につかない感がある。

へき地学校の歯科保健は、協力団体に依存している傾向があるが、本来的に国や県の大きな力で解決すべきものではないか。当県には、公衆衛生的立場で、保健所を中心とする歯科巡回診療の計画があると聞くが、その実施に期待してやまない。

県教委が、学校教育の立場で、僻地学校における児童生徒を対象とする口腔検査、予防処置の徹底を計るべく、学校専門の計画的な巡回診療の実施を期待したい。今までわれわれが行った巡回診療の実績を検討すれば、その事業の必要性・国保適応による運営の可能性がうかがえるこの軌道が敷設されれば、協力団体としても一段の活動が行ないやすくなる。発育過程における多くの子供が、歯疾に苦しみ、その治療を受けられない悲惨な現実を学校保健という立場でどのように解決していくかが大きな関心事である。

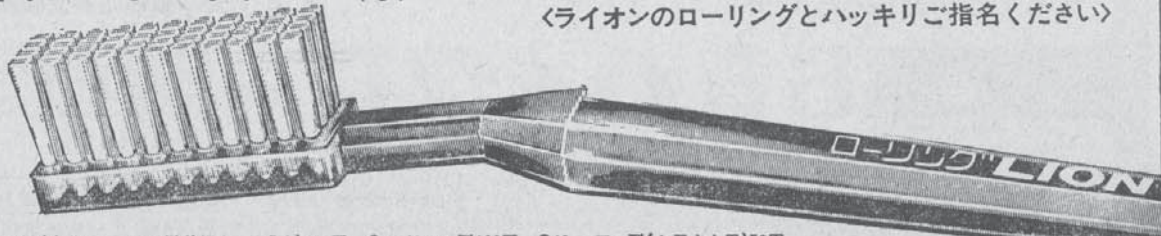
鹿児島県へき地学校巡回診療団の編成は、実施地区の郡学校歯科医会が中心となり、県学校歯科医会より数名参加し、一カ所約15-20名の編成で、開業医である故に診療期間は一日と限定し、診療数50名、診療内容は検診・アマ充填・抜歯とし、後処置を要するのは除外した。日曜祝日・休日診療日にあてているが組合加入の教師の中に、土曜の午後日曜は休みであるという理由で協力者が得られず、児童生徒の受診が大きく減じたのはいかがなものか。

鹿児島県における学校保健の活動

医・歯・薬—三つの報告

＊歯グキまで美しく健康にする…ローリングライオン歯ブラシ

〈ライオンのローリングとハッキリご指名ください〉



●デラックス型(豪華なハブラシ掛兼用ケース入り)200円 ●スペシャル型100円 ●ジュニア型(お子さま用)50円

離島における

環境衛生検査について

鹿児島県薬剤師会 黒岩将臣

一、初めて離島に出張検査

平素学校における環境衛生検査について、文部省基準による検査器具一式整備の上、各種の環境下に各条件のもとに検査を行っていたが、今回県の御援助により、かつて行われなかつた離島における検査を行うことになった。県より前原先生、県薬剤師会より小生並に尾立先生が同行することになった。

二、いよいよ出発

秋日和の10月7日県体育保健課を出發に先立ち、先ず検査器具を点検し、如何にしてこれを車に収容するかを心配した。器具の中に試薬等があり、これを破損せぬよう万全の注意が払われた。なお今回の調査に当り、県薬剤師会より六小中学校に対し、救急薬品並びに医療器具(簡単なもの)胃腸薬、目薬、風邪薬、アクロマイシントローチ等を進呈すべく、セットを組み持参することにした。さて県庁を出發し、国道三号線を一路北上、串木野市へと進み、串木野港より定期船にてこしき島に出發するのであるが、串木野港について、器具を取出す段になって、器具が一枚いのため、自動車のトランクが開かない。鍵のところは荷物がおさえて開かないのである。困り、整備工場を廻ってやっと開いて頂き、間一髪のことで、荷を船に運ぶことが出来た。初めての海外のこととて

気がなるのは、試薬や器具の破損の

ないようにとのことで船上で整備し船上の客となる。甲板にごさしい木の枕で、甲板上にゴロ寝。三人とも船に強い自信はある。釣で鍛練しているのので、少々の波浪にはかえって食欲が出るくらいである。南西の風でうねりはある。出港して目的地まで六時間の行程である。途中奇岩が立並び、目を楽しませてくれるが、砂浜らしいものは見えない。日本海に点在する小島であるが、船より見るとなかなか大きい島である。

朝食をすませ、車で山の頂上にある子嶽小学校に向う。先般知事の視察のあととて、道路は整備されているが、悪い処が多く、トラックの鉄棒にしがみつくとくも多い。学校にやと着いたが、学校には自動車はいない。驚いたことに学校の外壁が校舎より低いぐらゐ、高い壁に囲まれている。校長先生の説明によると、冬季節風が強く、風速40米の風が、連日吹きまくり、砂を吹き上げるので、こんなに高くしてあるそうだ。人家も同様である。講堂は台風で屋根瓦は吹きとび、上部は何にもない。児童は元気に勉強し運動している。晴天で教室は明るく見えるが、窓側に掲げられている物がある教室には先生に注意をした。木造建築故所々に、破れが多く、測定せずとも換気回数は多いが、冬期はさぞ寒からうと思われる。暖房設備は勿論ない。時間の都合で諸測定を中止し、持参の救急箱や薬品の贈呈を行ったが、大変感謝された。帰途飲料水を一升瓶につめ持参し、再び悪路を一路宿舎に向う。

瓶の洗い方が不完全なのである。今まで出水市の保健所に検査を依頼したが、いつも飲料不適當であるので、忽論塩素の消毒をしていない。検査はPHが7.6即ち弱アルカリ性である。しかし亜硝酸は検出しない有機物も少ない。よい水のようにあるが若し赤痢でも発生したらどうなるであろうかと思ふと慄然たるものがある。先生方並びに村当局に、次亜塩素酸ソーダ液にて消毒するか、煮沸したものを使用するよう指導する。この検査を行っての間、持参した救急箱や、薬品を贈呈する。少ない保健費のこととて大分たしになることと思う。学校より県薬会長に感謝状が送られる。夜宿舎に集まり、ここでも研修会を開催する。(二面写真参照)

六、活動を終る

夜半宿につく。目がさめて見ると「やもり」がおりびつくりする。夜半から波浪が高いのか、すごい風と波の音で、なかなかやすまれない。この状態では明日は欠航するかも知れないと心配になる。朝になると、波もややおさまったが、それでも高い。「はしけ」から本船へサーカスプレーである。串木野港に着き鹿児島市へ帰るのであるが、今後考えられる事は、派遣される人員は、至極健康で船に強い人を選ばねばいけな

い。また岩山に登ることもあるので脚力のある人でなければいけない。器具の点検の重要なことは勿論である。今回は一回目で、非常に悪天候でもなかつたから幸いであつたが、よく天候も考慮の中に入れておればならないと思う。

目的の下こしき村の手打港着きれいな南国的な海である。連絡の方式を積んで、宿舎に着く。現地の先生と我々三人で明日の打合せを行う夜交歓を終り、保健の研修会を行う先生方はなかなか熱心である。たまにある機会を逃さぬように夜中まで続く。校長先生は色々な事情のため早く帰られた。翌朝明けやらぬうちに、港と反対の西側の岩壁を散歩すると、三戸の空屋を見つけた。屋根を吹き飛ばされ、その中の一戸に淋しく徳利が一本立っている。だま

つてこれ運び、宿の主人にこの話をすると、自分がくれたものだから貰つてよいとのこと、見つけた尾立先生の所有となつた。貴重な物らしい。

四、第一校での活動

のめる水で泳ごう! 厚生省指定法定消毒薬 食品添加物合成殺菌料 日曹ハイクロン 学校保健会御推薦品 日本曹達株式会社 本社 東京都千代田区大手町2-4 (211)2111 支店 大阪市東区北浜2-90 (203)3151

# 鹿児島県学校医会の組織と活動

鹿児島県学校医会理事  
鹿児島県医師会常任理事  
牧 田 健 志

県学校医会は、県医師会の一部会であつて、学校保健に関する学術専門団体としての責務を完遂することを目的としている。

## 一、組織について

県医師会長は県学校医会長であり、県学校保健会長である。即ち県医師会、県学校医会、県学校保健会は一本化している。その下部組織として、市郡医師会長は市郡学校医会長である。市町村学校保健会長も概ね市郡医師会長が兼務しているが、一部の市町村においては異なっている。しかし県学校医会の44年度事業計画として、市町村学校保健会の強化拡充並びに概ね教育事務所管轄区域を単位とする郡市学校保健会の結成」を掲げ、概ね全県下結成活動が行なわれている。かくの如く市県学校医会組織は確立され一本化の下に活発に活動を続けている。組織の一本化は、校医団の団結をもたらし、予算面においても事業推進に対しても、最大の効果をあげ得るものであることを痛感している。

## 二、活動について

鹿児島県の児童生徒の体位並びに学力は全国最下位を続け、県民所得もまた全国最低であつて、県政上の大きな問題点となつてゐる。本会は県医師会と一体となり、数年来県当局に対し児童生徒の体位体力の向上を計ることこそ県勢発展の基本であることを指摘し、子供づくり特に学校保健に大巾な投資を行なうべきで

あると主張してきた。これに対し県当局は、県学校保健会補助金10万円を、42年度から一〇〇万円に、総理府所管の体力づくり県民会議(第1部会―第6部会)に、本県においては特に第7部会(児童生徒の発育発達部会)を県所管として新設し、第7部会の運営を県医師会に委託し、それもこれまで20万円であつた委託費を、44年度から100万円に大巾引上げたほか、一大県民運動として『太陽の子運動』を展開し、これに八〇〇〇万円の予算を計上した。44年度の全国学校保健研究大会(全国都道府県医師会学校医大会を同時開催)、47年度の団体を本県で開催することになったのも県当局が青少年の体位体力の向上対策に真剣に取り組まんとする意欲の現れと考へてよいのである。このためには、本会は県医師会と協力し、年間4回の県当局とのトップ会談を開催し、毎回学校保健の問題を提供し、その向上発展への具体策を研究協議して実施に移している。また県医師会活動の基幹である地域保健活動においても、「地域保健懇談会」を開催し、成人病、へき地医療、医療保険、血液対策などと同時に必ず学校保健をとりあげ、地域住民の学校保健に対する関心を高め、学校における保健活動をより一層効果的ならしめてゐる。県医師会には広く県下の地域住民の代表及び各関係官庁、団体の代表を集め懇談の場をもち、次いで各市郡単位、更に

町村単位の懇談会を逐次展開している。地域住民の声として「なぜこんな有意義な会を早く開いてくれなかつたか、何回でもやってくれ。医師は自分の診療のみをやつてゐるのかと思つてゐたが、そのような調査研究活動を、熱心にしかも効果的にやつてゐるとは知らなかつた」との強い反響があつた。

県学校医会の最近最も強力に推進してゐる事業としては、本県児童生徒の体位体力の向上に資する調査研究と学校保健の調査研究である。前述のとおり、本県の児童生徒の体位は全国最下位(離島へき地が著しく低下している)で、これが向上対策に全力を挙げている。県下六一九名の校医団のみならず、外科、産婦人科、精神科、皮膚泌尿科などの医師も協力し、県学校医会の計画に全面的に賛同し着々と成果を挙げている。

- 昭和44年度体位体力向上、学校保健対策に資する研究テーマ
- 鹿児島市
  - 体位体力の特質とその向上策
  - (特に栄養と運動について)
  - 乳幼児の栄養と発育発達との相関
  - 栄養欠陥、不規則生活の影響
  - 免疫グロブリンと体力との相関
- 川内市
  - 栄養欠陥が体位体力に及ぼす影響
  - 栄養欠陥と疾病異常
  - 偏食と貧血について
- 鹿屋市
  - 体位体力の特質とその向上策
  - 起立性障害、起立性タン白尿
  - 乳幼児の栄養と発育発達との相関
- 枕崎市
  - 体位と家庭環境
  - 栄養欠陥と疾病異常

- 串木野市
  - 循環器疾患が体力に及ぼす影響
  - 学校病撲滅の具体策
- 大口、伊佐
  - 体位体力の特質とその向上策
  - 定期検診事後処理の具体策
- 指宿市郡
  - 循環器疾患が体力に及ぼす影響
  - 精神衛生について
- 頰娃
  - 栄養改善策
- 川辺郡
  - 体位体力の特質とその向上策
  - へき地校の学校病撲滅具体策
- 日置郡
  - 体位と運動能力との相関
  - 農村の家庭生活の実態と保健対策
- 薩摩郡
  - 地域環境が発育発達に及ぼす影響
  - 肥満児対策
- 出水市郡
  - 栄養が体位体力に及ぼす影響
  - へき地校の学校病撲滅具体策
- 始良郡
  - 体位体力の特質とその向上対策
  - 循環器疾患の発見とその対策
- 曾於郡
  - 循環器疾患が体力に及ぼす影響
  - 循環器疾患の発見とその対策
- 肝付郡
  - 地域環境が発育発達に及ぼす影響
  - タン白尿、血圧、心電図追跡調査
- 肝付東部
  - 体位と運動能力との相関
  - タン白尿、血圧、心電図追跡調査
- 熊毛郡
  - 乳児期の発育が学童期の発育発達に及ぼす影響
  - 体位体力の特質(次頁につづく)

1度に  
**4種類**の尿検査ができる!  
尿のpH・糖・蛋白・潜血に対する  
“Dip and Read”方式試験紙  
**ヘマコンビスティックス**  
販売元 三共株式会社  
製造元 AMES Co., Inc.

明日のために  
今日ものむ  
**ポポンS**  
シオノギ製薬

とその向上策  
○起立性調節障害

大島郡

○体位体力の特質とその向上策  
○へき地校の学校病撲滅具体策

研究テーマの決定については、はじめ県学校医会にて起案し、これを市郡学校医会長会議にはかり、各市郡学校医会にて検討の上、調査研究の方針、実施要領、予算などを報告してもらい慎重に決定したものである。特に地域の特性を考慮して起案し、希望によりテーマの変更を行なうこともできる。この研究は44年度に結論をつけてもらい、やむを得ず結論のでないものは45年度に継続研究として繰越すこともある。

予算面については、県学校保健会第7部会よりの研究助成金と県医師会一般会計学校保健予算の一部とを充当し、各市郡学校医会の研究実績を審査して配分する。相当な経費を要するが、各市郡医師会の一般会計からも一部補充してもらおうことになる。

調査研究は、一般に市郡学校医会単位で行なわれるので、研究の対象が広範囲にわたり正確なデータが得られる。しかも都市、農村、漁村、へき地、離島などの地域的特色が著明に表明される。それらに対する対策も地域的に差異がある。

43年度の研究は、ほとんど結論がでていたが、44年度の全国道府県医師会学校医大会のあり大会紀要として冊子にまとめ配布すべく準備中である。

以上の研究テーマのほか、各校医にていろいろ調査研究が行なわれ、貴重な論文が数多く提出されるが、

県医師会報にてそれぞれ掲載発表している。

② その他の重点事項

学校保健法による健康診断、健康相談、予防接種及びツ反応などの実施は勿論のこと、次のような事項を重点としてとりあげている。

- 1、学校における疾病予防の具体策を研究する
- 2、児童生徒の血液型調査
- 3、へき地児童生徒の健康診断等への協力
- 4、学校医、学校保健関係者の研修会開催
- 5、PTA、各種団体の集会にお

就学時の健康診断の重要性は、特殊教育の発達により、初期スクリーニングの要請から、最近その実施法につき種々論ぜられるようになってきたので、とくに熱心に実施している広島県教委に依頼してこの報告を得、一般の参考までに掲載することとした。

- 一、就学時の健康診断
- 1、実施時期 昭和44・1・30
- 2、概要
- 保護者への通知

### わが校における 就学時の健康診断

#### 広島市立段原小学校

広島市より就学児童名簿を受けとり、広島市教育委員会から準備されたハガキに、就学児童氏名及び保護者の住所氏名を記入して、実施前2週間に、実施通知をする。

○実施順序

- ①受付②聴力検査③色神検査④視力検査

- ける保健講話の実施
  - 6、地域社会健康教育推進への全面的協力
  - 7、体力づくり県民会議並びに『太陽の子運動』への全面的協力
  - 8、学校医の待遇改善
- 以上本県学校医会の現状の概要を述べたが、これらは医師の任務は単に患者の医療を行なうだけでなく更に進んで保健指導を司ることによって公衆衛生に寄与し以て国民の健康な生活を確保することにあることを再認識し医師としての職能的使命に徹せんとするものである。

- ⑤耳鼻科検査⑥歯科検査⑦身長体重測定⑧内科検査⑨眼科検査⑩勧告
- 結果の通知 検査の結果を就学時健康診断票から、学校で用意した通知用紙に転記し、保護者に渡す。疾病異常あるものには、治療の勧告をする。
- 二、知能検査
- 1、対象者 就学児童全員
- 2、検査担当者 一、二年生の担任から六名が実施にあたった。
- 3、検査方法

- 受付で先着順に番号札を渡す。
- 被検者を控室で休けいさせる。
- 控室でテストを受ける注意をする
- 20名をテスト室に入れる。(検査者1名補助者2名)
- 検査者知能テスト要領にもとづいて行ない、補助者2名は検査者を補助し、お互いに協力して実施する。

- テストに要する時間は20分を予定
- テスト用品は問題紙・鉛筆・番号札。
- テスト用の部屋は、第一室 控室 第二室 テスト室 第三室 テスト室とし、控室の机・腰掛は、被検査者数に応じて用意する。
- 保護者は入室せず、窓越しに見えよう廊下で待つ。
- 4、テスト要領 氏名は左はしに記入させるが、書けない場合補助者が記入。

- 問題1 正方形の模写 問題用紙の正方形を見て下に同じものを書く。
- 問題2 ひし形の模写 問題1と同じく書かせる。問題1・2は形も、大きさも、同じものを要求した。
- 問題3 顔の絵の完成 未完成の顔を完全な顔になおす。別に完全な顔を書いて合格。検査票は、当市教育委員会より配布したのを使用。
- 5、検査に要した時間一時間半。
- 6、検査の実状 親から離れられないのはわずか1名、他は指導通りに行動した。
- 7、検査の結果処理、上―指示通りに記入した。中―未完成 下―氏名の記入や、模写に時間を要し、正確のもの。上30%中65%下5%
- 8、結果の利用

- 学級編成の資料とし上中下を学級に等分
- 遅進児・落ちつきのない子・多弁など問題の子供を発見した。
- 集団生活の訓練になれない子を見つけた。
- 9、感想 特におくれている子供を発見したこと、及び結果成績がいろいろな点で学級編成に大きな資料となったこと。

健康教育に…ビタミンAD剤

# カワイ肝油ドロップ



河合製薬株式会社

東京都中野区新井2丁目

### 離島における学校歯科活動

#### 軌道にのった出張診療五カ年計画(その六)

東京都学校歯科医会々長 亀 沢 シズエ

昭和44年度の出張診療も例年通り順調に計画も進み、人員構成も増々充実し、私以下都の技師職員を混えて13名の多きに達し、準備、検診、診療、指導の過程を二つのグループに分けて行う事が可能となり、診療自体にもやや時間的余裕が得られる状態となった。

しかし、今年度は離島診療の厳しさというが、特にその険しさが別の面である事を痛切に感じさせられる年であった。それは距離的、時間的又は診療体制、受入体制などの制約ではなく、人為的には何如ともし難い気象状況との戦いであった。10時間余になんなんとする太平洋の船旅には我々本土に常住する者にとつて一番の敵は風波である。毎回計画実施にあたっては、一年中で一番海が穏やかだといわれている5月6月を狙っているのであるが、今年度は最悪の事態に遭遇した。東京港を夜の10時大島へと出航した。たはば丸は、東京湾を出ると例年と違ったローリングをはじめた。しかし一行は体験から来る自信と仕事に対する使命感から、船酔いをするものは一名もなく、船は約一時間半遅れて大島に辿り着いた。乗換のため大島の乗船場へひとまず入ると外にはわかにか台風のような雨に変わった。心配しながら新島、式根島方面へ行く船の出る事を祈ったが、はしけ作業不能のため船は出せないとの事、二時間余して式根島のみが寄港出来そうだと

連絡で、今度は小笠原航路用の台風に強いといわれる黒潮丸に乗込んだ大島を出ると案のじよう海神が怒つたよう荒れようとなった。畳の船室では各自洗面器が渡されたが、柱や壁に寄りかかっている座つて一カ所にいる事は到底出来ず、ベッドの連中も身体を結わきつけておかないといられなかった。一行全員悪心、半数以上が例によつて洗面器のお世話になった。私などはその最たるもので、声を出さないよう、音を聞かせないように二重の苦勞をした。2時間余を過ぎると我慢しきれない連中が派手な声を出しはじめ、あたかも生地獄のようであった。引力にさからう上下動は脳震とうを起しはしらないかと思わせる強いもので、乗船中数時間の間ほとんど目を開ける事は出来ず、横揺れがひどい時は、将棋倒しならぬ将棋寄せとでもいうか、寝ている人間を部屋の隅へ一まとめに持って行く凄まじさであった。船員に聞くと風速28米で浪も三階の高さにある船室の窓を洗っているとの事、時々流すスニーカーの情報が一転又一転、時にはこのまま下田まで直行、などといだし一行をますます不安に陥らした。木の葉のように大海で島のまわりを右往左往した船は、やっと式根島のそばにイカリを下ろし、はしけの来るのを待った。弱りきつた一行も最後の力をふりしぼつて地獄から這い上るような思いではしけに飛

### 東京都の精神科校医

東京都では、昭和42年度から、校医として精神科の専門医をおくことになった。44年度には、都全体で24名の精神科校医をおき、大体系区内各区分1名である。各区分の小・中学校の特殊学級や、都立養護学校の児童生徒、または教育研究所に教育相談に来たものなどが

その指導を受けている。就学時の健康診断の際にも、精神検査を行ない、就学指導に資している。区によっては、中学校担当の精神科専門医を校医中から委嘱している。現在報酬は月一万円である。

び移った。通常2時間位の航程を5時間半かかってやつとたどり着いた。私はじめ全員宿について小休止、ほとんどの者が目をくぼませていた。島の学校の先生方も今日ほとんども無理でしょうから明日の午前中に診療をお願いしますなどと心配してくれたが、30分もすると、誰ともしに起き上り診療荷物の整理が始まった。ともかくどんな思いでもする覚悟でいる皆んななのである。幸か不幸か2班とも式根島に来てしまったので午前中のロスは取り返せる。すぐに学校へ連絡して診療を開始することにになった。子供達の顔を見たらぐんぐんフアイトが湧いて来た。去年、おとし、我々の手順も堂に入ったもので設営はまたたく間に出来上った。教職員、我々診療班、児童生徒三者の人間関係はまさにこの事業を成功に導くようなスムーズさで、愛情と尊敬とで硬く結ばれていた。従つて出張診療をはじめて以来保健教育が徹底し、子供達も率直で、病気は治すものだという理解がゆきわたり、歯口清掃も可成り行き届き、口腔環境も都会並近くに良く

なっているのは診療班一同驚くばかりで、私も4年前の調査の時のあ目の覆うばかりの状態を思い浮べ、思わず胸が熱くなるのをおぼえた。信念は通じた5カ年計画終了を待たずに、この夢のような成果を誰が予測出来たろう。成せば成る。まさに誠意ある実行そのものが島の人々、教職員、子供達の心に伝わったのだと思う。その日の夕方、予定通り小中学校のすべての診療が完了出来た。すがすがしい島の空気が、澄み切った夜空に月を眺め、すっかり星間の船旅の悪夢を忘れ去つた我々であった。翌朝やはり浪は高く、新島へ向う定期のはしけは欠航との事であった。一行の意気は特別チャーターのはしけを出させるまで高揚して三分程うずくまると、浪の洗う新島の棧橋に舟づたいに降り立った。海岸はひどい砂ぼこりだった。村の教育委員会の方のピストン輸送で、やつと午後からの新島本村と若郷の診療にこぎつけた。しかし予定の日程より半日遅れており、私も全員に叱咤激励を飛ばし、モウレッツ診療が開

## クリーンウェット

**衛生**

## お手拭紙

一学校給食用 特価50枚入25円。給食1ヶ月20回として 1人10円

学童に清潔の習慣を.....

## クリーンウェット

■厚生省指定代用消毒薬  
「塩化ベンザルコニウム」使用

中小企業庁指定モデル工場  
日本工業規格表示許可工場  
医薬部外品製造許可工場

**合名会社 東予商事**

愛媛県川之江市金生町1952の1 TEL (0896) 3456  
東京営業所 東京都渋谷区神宮前3/3/9  
大阪営業所 大阪市北区空町1/66 宇野ビル  
名古屋営業所 名古屋市中区栄町4-6 日徳産業ビル3階  
九州営業所 北九州市小倉区五軒屋町官15

全国学校薬剤師講習会

期日 8月19日(火)20日(水)  
会場 高野山大学松下講堂  
今回は関西では初めての学薬講習会  
会場で、地元和歌山県教委、県薬、県  
学薬の方々の非常な熱の入れ方で、  
涼しい高野山の環境も手伝い、予想  
以上ののり多い講習会となった。  
出席者も広く全国から集まり、約三  
五〇名を数えた。

本会 ニュース

在京理事会開催  
期日 9月26日(金)  
場所 本会事務所  
協議題

一、昭和45年度予算案の検討  
二、理事会・評議員会の運営  
常務理事会開催

期日 10月20日(月)午前  
場所 虎の門共済会館  
協議題

一、昭和45年度事業計画案・同予算案の審議  
二、その他  
理事会開催

期日 10月20日(月)午後  
場所 虎の門共済会館  
協議題

常務理事会の協議題に同じ  
交通安全スライド教材の  
無料配布完了

日本自転車振興会の補助と生命保  
険協会その他の機関の協力を得て、  
次のように交通安全のための教材用  
スライドを無料配布した。  
品名 カラー・スライド

学校保健用品 推 告 薦

昭和44年7月31日付左記品目につ  
き推薦状を交付した。  
体感指数計(快不快指数計)  
東京都大田区田園調布4の26  
(株)太田式計器製作所  
電(751-1050)

- ①用途 温・湿度による空気環境を  
指数でよみとり、快不快等の体感  
度を測る測定器
- ②形状 壁掛用(19cm×11cm)  
乾湿球(ガラス寒暖計使用)式に  
して取付板はビニール製  
測定温度範囲(10℃~30℃)  
測定指数範囲(40~100)
- ③使用法 中央ダイヤル目盛板上の  
指標を現在の乾温(左側)指示に  
合わせれば、湿温(右側)指示に

対する中央ダイヤル目盛板上の体  
感(不快)指数が現在の指数を示  
すことになる。

- ④特色 本器は不快指数の原理に基  
いて、温度と湿度とを加算して一  
体化となし、それを指数化し、実  
際にメーターとして使用できるよ  
うに考案されたものであり、従来  
の如く、温度と湿度とを別個に取  
扱う必要なく、指数一つで環境衛  
生の適否を測定できるという特長  
を有する。指数目盛には「寒い」  
「やや寒い」「快適」「やや不快」  
「全不快」等が色別に示されてい  
るので、直ちに現在の体感状態を  
知ることができる。
- ⑤価格  
七二〇円(学校特別価格)  
八〇〇円(小売価格)  
地方発送には運賃を申受けます。

「みんなの交通安全」  
内容 小学校低学年用、中学年用  
高学年用3巻1組、各巻マウ  
ント方式33コマ、ソノシート  
解説書付  
文部大臣奨励賞受賞作品

配布組数 一五〇〇組  
配布先 各都道府県及び指定都市  
の学校保健会  
配布 8月始めより順次配布し、  
9月末までに配布完了  
利用方法 各保健会に一任

(お願ひ) 今後の本会の事業計画  
の参考としたので、同スライドの  
ご利用上の状況、成果ならびに感想  
等を寄せられたい。

医・歯・薬三師の方々に  
ぜひご購読を

本紙は、創刊以来、全国の公立  
小・中・高校及び教育委員会に無  
料配布をしておりますが、医歯薬  
三師の方々や、その他個人の方々  
にもぜひご購読をお願いいたします。  
30部以上一括発送の場合は3割引  
少部数は切手代用で結構です。  
購読料 一カ年(隔月発行) 200円

純良医薬 第一製薬

ねんざ・うちみ・神経痛に

〈消炎・鎮痛・新型パップ剤〉

ヘルペックス®  
HERUPEX

快? 不快?  
「グルリとまわして  
ピタリとわかる」  
財団法人 日本学校保健会推せん  
体感指数計  
東京都大田区田園調布4-26  
(株)太田式計器製作所



イスマットは日本の風土・気候や人間工学上絶対必要ですがこれからは勉学マットの新時代です!!

財団法人 日本学校保健会推せん 有朋社の勉学マット  
全国府県学校保健会推せん (健康イスマット)

画期的特長

- ……すぐれたクッション・好適なかさ・完全断熱性——せきついわんきょくを防ぎ冷えに感じやすい体質を改善
- ……世界最高の両面粘着テープ(ソニー製)でイスの座面と一体化(座高の補正)
- ……流麗のエンボス加工製品(男女二種)→教室内は美しく整然たるムードがーばい
- ……軽くて折りたたみ可能…野外授業や修学旅行携帯にも便利

価 格

320cm×320cm×(4mm×3層) 1枚200円(一般市価230円)

(被推薦者) 有朋社研究所 高岡市伏木局区内 電話 代表44-2326

全国発売元…西川産業株式会社 東京都・日本橋・富沢町 電話代表 664-8161

製造元…日立化成工業株式会社 東京都・丸の内・1の4 電話代表 214-5111

